



校 報

第92号

兵庫県立
はりま一宮小学校

学校教育目標
「こころ豊かにたくましく
自ら学ぶ児童の育成」
本年度のテーマ
子どもが主体的に学ぶ
学校文化の創造

「よりどころ」を育てる夏休みに！

校長 春名 隆行

梅雨の合間の強い日差しとひととき新鮮やかな青空に本格的な夏の到来を感じる季節となりました。地域の皆様、保護者の皆様には、本校の教育活動に格別のご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

先日、六年生が企画・運営する児童会行事として、「七夕しあわせ集会」を実施しました。六年生が平和について調べたり考えた

りしたことをグループごとに発表する、全児童で願い事を短冊に書く、世界中の人々の幸せを祈って鶴を折るなどの活動を行いました。短冊には、将来の夢、家族やまわりの人々の幸せを願う言葉がしたためられて

いました。思いを込めて綴った願い事を同じグループの仲間

に紹介しあっている姿を見えていますと、だれもにこやかで、あたたかい雰囲気がひろがっていました



た。みんなの願い事がかなうように応援していきたいという気持ちがいっそう高まりました。



さて、いよいよ夏休みが始まります。子どもたちには、ぜひ、夏休みという時間を有効に使って、自分自身の「よりどころ」を育てていってほしいと思います。また、保護者や地域の皆様も、ぜひ、子どもたちと一緒に、自分の「よりどころ」と向き合っていたければ幸いです。

願い事を実現することは簡単ではありません。そこには多くの試練が待ち受けているからです。一つ、また一つと試練を乗り越えるたびに、実現に近づいていきますが、その道のりは決して平坦ではありません。大きな壁にぶつかったとき、迷い、不安、あきらめる、くじけるなど、マイナスの感情がわきおこってくることもあります。そして、その感情は孤独であればあるほど、大きなストレスとなり、壁と向き合う気力

を奪ってしまいます。しかし、心の中に「よりどころ」があれば、その試練に打ち勝つことができると思うのです。

私自身、これまでに友だちの笑顔や一本の電話、先輩の失敗談、そして読書に助けられたことが何度もありました。また、運動や映画を楽しんだり、料理を作ったりすることで、心がすっきり晴れやかになることもありました。家族や友だち、周囲からの応援、趣味、そしてこれまでに積み重ねた経験や価値観は、心が折れそうになったときの心の回復になくてはならない、自分自身の「よりどころ」です。その形は人それぞれですが、人生の中でどんどん育ち、人とのつながりによってさらに豊かになっていくという点は、誰にとっても共通しています。

地域・保護者の皆様には、日頃から子どもたちをあたたく見守っていただき本当にありがとうございます。夏休みは普段と違い、ゆとりのある時間の中でより多くの人と出会い、深く関わり合うチャンスに満ちています。この夏休みが子どもたちにとって、そして皆様にとって、新たな「よりどころ」を育む素晴らしい時間となることを祈っています。



7月の行事予定

- 15日(水) 給食最終日 14:45下校
- 16日(木) 短縮授業 11:30下校
- 17日(金) 第1学期終業式 11:00下校
- 20日(月) 海の日
- 21日(火) 個別面談
- 22日(水) 個別面談
- 23日(木) 個別面談
- 24日(金) 個別面談



8月の行事予定

- 11日(火) 山の日
- 12日(水) 学校閉鎖日
- 13日(木) 学校閉鎖日
- 14日(金) 学校閉鎖日
- 23日(日) PTA奉仕作業



9月の行事予定

- 1日(火) 第2学期始業式 11:00下校
- 2日(水) 短縮授業 11:30下校
- 3日(木) 給食開始 14:45下校
- 4日(金) 14:45下校
- 26日(土) 運動会
- 28日(月) 振替休業日



